





取扱説明書

EH-TW5825

Home Projector

各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。

取扱説明書(本書)

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。





○ 説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産 への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。 その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

🕂 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<u> î</u>注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。
	例:[画質] – [カラーモード]
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。
	例:【Menu】ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

▶ 同梱品の確認

下記をご覧になり、同梱品を確認してください。 万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体

取扱説明書 ● p.1

保証書

電源コード



プロジェクターリモコン ← p.12 単4形乾電池(2本) ← p.23



Android TV用リモコン 🖝 p.12 単4形乾電池(2本)



逆さ設置用ゴム足



本機の説明書はホームページでもご確認いただけます。 dreamio.jp/doc/



お使いのプロジェクターの型番を選んで取扱説明書をダウンロードしてください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という 表記について	2
同梱品の確認	З

<u>はじめに</u>

本權	幾の特長	7
-	フルHDに最適化した高画質化技術を搭載	7
ク 育	ゲームの楽しみ方が変わる新ゲーミング機 尨	7
t	かんたん本格リビングシアター	7
各部	部の名称と働き 8	3
育	前面/上面 {	3
掙	操作パネル	9
Į	背面 1(C
Ē	底面 1	1
Ĺ	Jモコン 1:	2

使い始めるまでの準備

設置しよう	15
投写映像と本機の設置位置	15
投写面に対して平行に設置する	15
本機の左右の高さを合わせ水平に設置す る	15
いろいろな設置方法	16
テーブルなどに置いて投写する	17
天吊りして投写する	17
投写距離とレンズシフトの最大値	18
機器と接続しよう	20
ビデオ機器の接続	20
コンピューターの接続	20
iPad/iPhoneの接続	20
外部機器の接続	20
Bluetooth [®] 機器の接続	20
外部スピーカーの接続	22

リモコンを準備しよう	23
リモコンに電池をセットする	23
リモコンの操作範囲	24
操作可能範囲(左右)	24
操作可能範囲(上下)	24

基本操作

映像を投写しよう	25
電源を入れる	25
目的の映像が映らない場合	26
電源を切る	26
投写映像を調整しよう	27
ピントを調整する(フォーカス調整)	27
投写のサイズを調整する(ズーム調整)	27
映像の高さを調整する	27
本機の傾きを調整する	28
映像の位置を調整する(レンズシフト)	28
台形ゆがみを補正する	29
自動で補正する(自動タテ補正)	29
手動で補正する(スライド式ヨコ補正) .	29
手動で補正する(タテヨコ補正)	30
手動で補正する(Quick Corner)	30
音量を調節する	32
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)	
	32

画質の調整

画質の調整をしよう	33
映り具合を選ぶ(カラーモード)	33
画面をフルやズームに切り替える(アスペ クト)	33
シャープネスの調整	34
映像の解像感を調整する(イメージ強調) .	34
オートアイリス(自動絞り)を設定する	35
色を調整しよう	36
色温度を調整する	36
RGBを調整する(オフセット・ゲイン)	36
色相・彩度・明度の調整	37
ガンマの調整	38

補正値を選んで調整する	38
ガンマ調整グラフで調整する	38
登録した画質で映像を見る(メモリー	
機能)	40
機能) メモリーを登録する	40

便利な機能

HDMIリンクで操作しよう	42
HDMIリンク機能	42
HDMIリンク設定	42
接続する	43

環境設定メニュー

環境設定メニューの機能	44
環境設定メニューの操作	44
環境設定メニュー一覧	45
画質メニュー	45
映像メニュー	46
設定メニュー	46
拡張設定メニュー	49
情報メニュー	50
初期化メニュー	50

困ったときに

故障かなと思ったら5 ⁻	1
インジケーターの見方5	1
異常/警告時のインジケーターの状態5	1
正常動作時のインジケーターの状態5	З
インジケーターを確認してもわからないと	
き54	4
現象の確認 54	4
映像に関するトラブル55	5
音に関するトラブル58	8
投写開始時のトラブル58	8
リモコンでのトラブル5	Э
操作パネルのトラブル5	Э
HDMIのトラブル 60	С
Bluetooth機器のトラブル60	С
メディアストリーミング端末のトラブル . 6	1

<u>メンテナンス</u>

お手入れの方法 62
各部の掃除 62
エアフィルターの掃除62
本体の掃除 63
レンズの掃除 63
消耗品の交換時期 64
エアフィルターの交換時期 64
ランプの交換時期 64
消耗品の交換 64
エアフィルターの交換方法64
ランプの交換方法65
ランプ点灯時間初期化67
メディアストリーミング端末の取り外し 68

<u>付録</u>

オプション・消耗品一覧(69
オプション品	69
消耗品	69
対応解像度一覧	70
PC	70
SD	70
HD	70
仕様一覧	72
EH-TW5825	72
外形寸法図	73
安全規格対応シンボルマークについて	
······································	74
用語解説	76
一般のご注意	77
警告ラベルについて	78
廃棄について	79
商標について	79

🔵 本機の特長

フルHDに最適化した高画質化技術を搭載

ゲームの楽しみ方が変わる新ゲーミング機能

- 21:9入力に対応し、横長ワイドのゲームコンテンツを端まで表示できます。
- ダークガンマリフト機能で暗い部分を調整し、視認性を上げることができます。 p.38

かんたん本格リビングシアター

- Android TVTMが内蔵されているため、インターネットにつなぐことで、簡単にコンテンツ視聴を開始できます。
- エンクロージャー付きスピーカーで、臨場感あるサウンドを楽しめます。

○ 各部の名称と働き

前面/上面



名称		機能
1	ランプカバー	ランプの交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☞ p.65
2	スライド式レンズカバ	ツマミをスライドさせて、レンズカバーの開閉をします。
		投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。 🖝 p.32
3	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。
		▲ 警告
		排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラ ス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片 が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。
		▲ 注意
		投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を 受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が 出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
4	レンズカバー	本機を使用しないときに閉じ、レンズを傷や汚れから保護します。 ☞ p.26
5	フロントフットレバー	フットレバーを押して、フロントフットの高さを調整します。

		·····
	名称	機能
6	投写レンズ	ここから映像を投写します。
7	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 🖝 p.24
8	吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
9	エアフィルターカバー	エアフィルターの交換時に、このカバーを開けてエアフィルターを取り 出します。 🖝 p.64
10	セキュリティースロッ ト(位)	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応し たセキュリティースロットです。詳細は、Kensington のホームページ http://www.kensington.com/でご確認ください。
11	フォーカススライダー	映像のピントを合わせます。 🖝 p.27
12	ズームスライダー	映像のサイズを調整します。 ● p.27
13	レンズシフトダイヤル	映像の位置を上下に移動します。 🖝 p.28
14	ヨコ補正スライダー	投写映像のヨコ方向のゆがみを補正します。 ● p.29
15	操作パネル	本機の操作をします。 🖝 p.9

操作パネル



	名称	機能
1	スタンバイボタン (スタンバイインジケー ター)	プロジェクターの電源をオン/オフします。
2	ステータスインジケー ター	本機のウォームアップ中、クールダウン中に青色で点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。 ● p.51
3	ランプインジケーター	ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケー ターとの組み合わせで、本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 ☞ p.51

	名称	機能
4	温度インジケーター	内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの 組み合わせで、本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 ☞ p.51
5	【HDMI】 ボタン	HDMI端子からの映像に切り替えます。 🖝 p.26
6	音量(左右)ボタン	 ● 音量を調整します。 ● p.32 ● メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。 ● 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。 ● p.30
7	台形補正(上下)ボタ ン	 ・ 投写映像のゆがみを調整します。 ● p.30 ・ メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。
8	【Esc】 ボタン	メニューを表示中に、1つ上の階層に戻ります。 🖝 p.44
9	【Enter】ボタン	メニューを表示中に、機能や設定値を選択します。 🖝 p.44
10	【Menu】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行う ことができます。 ● p.44
11	【Home】ボタン	Android TVの映像に切り替えます。

イルミネーション機能が [オフ]の場合は、正常な投写中にインジケーターがすべて消灯しています。
 ● [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.49

背面



	名称	機能
1	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 🖝 p.24
2	Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
3	Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。 🖝 p.22
4	HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☞ p.20

名称		機能
5	電源端子	電源コードを接続します。 ☞ p.25
6	格納スペースカバー	メディアストリーミング端末を脱着するときにカバーを外します。 ● p.68
7	スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。

底面



名称		機能
1	天吊り固定部(3箇 所)	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☞ p.69
2	セキュリティーケー	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
	ブル取付け部	また、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けることができます。
3	リアフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☞ p.28
4	排気口	メディアストリーミング端末を冷却するための空気の吐き出し口です。
5	吸気口	メディアストリーミング端末を冷却するための空気を取り込みます。
6	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。 ☞ p.28

リモコン

プロジェクターリモコン

プロジェクターとAndroid TVTMを操作できるリモコンです。 本書では断りがないかぎり、プロジェクターリモコンでの操作を説明しています。



	名称	機能
1	スタンバイボタン	プロジェクターの電源をオン/オフします。 🖝 p.25
2	戻るボタン	実行中の機能を終了します。メニューの表示中に押すと、前のメニュー階 層に戻ります。 ● p.44
3	上下左右ボタン	メニュー項目や調整値を選択します。 🖝 p.44
4	【Enter】ボタン	メニューの表示中に、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☞ p.44
5	メニューボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができま す。 ☞ p.44
6	音量ボタン	音量を調整します。 ☞ p.32
7	再生操作ボタン	Android TVやHDMI CEC規格対応のビデオ機器を操作します。 ・ p.42

	名称	機能
8	台形補正ボタン	映像のゆがみを補正します。 p.29
9	Googleアシスタン トボタン	音声で、番組の検索、テレビの操作、1日の計画など、さまざまなことが できます。Googleに話しかけてみてください。
10	入力検出ボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。
11	ホームボタン	Android TVのホーム画面を表示/終了します。
12	Appsボタン	Android TVのアプリー覧を表示します。
13	YouTubeボタン	YouTubeアプリを開きます。
14	A/Vミュートボタン	映像と音声を一時的に消す/再開します。 🖝 p.32
15	インジケーター	リモコンを操作中に点灯します。
16	マイク部	Googleアシスタントボタンを押して、ここに話しかけます。
17	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

Android TV用リモコン

Android TVを操作できるリモコンです。



	名称	機能
1	スタンバイボタン	Android TVの電源をオン/オフします。
2	上下左右ボタン	Android TVのメニュー項目を選択します。
3	決定ボタン	Android TVのメニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
4	戻るボタン	Android TVの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
5	音量ボタン	Android TVの音量を調整します。
6	YouTubeボタン	YouTubeアプリを開きます。
7	Netflixボタン	Netflixアプリを開きます。Netflixでコンテンツを視聴する場合は、メン バーシップ登録が必要です。
8	Google Playボタン	Google Playに接続します。Googleアカウントでログインすると、 Google Playからアプリをダウンロードできます。
9	ホームボタン	Android TVのホーム画面を表示します。
10	アプリボタン	Android TVのアプリー覧を表示します。
11	インジケーター	リモコンを操作中に点灯します。
12	Googleアシスタン トボタン	音声で、番組の検索、機器の操作など、さまざまなことができます。 Googleに話しかけてみてください。
13	マイク部	マイクボタンが押されたときに、ここで音声を検出します。
14	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

-

🕽 設置しよう

投写映像と本機の設置位置

プロジェクターは以下のように設置してください。

| 投写面に対して平行に設置する

投写面に対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。 投写面と本機が平行になるよう設置位置を調整してください。



本機を平行に設置できないときは次の方法で投写映像を調整します。

- ヨコ補正スライダーまたはタテヨコ補正を使って映像のゆがみを補正● p.29
- レンズシフトで映像の投写位置を調整● p.28

本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。 本機の高さが左右で水平になるよう設置してください。 本機を水平に設置できないときは、リアフットで本機の傾きを調整します。 - p.28



いろいろな設置方法

⚠ 警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事には特別な技術が必要となります。正しく工事が行われない と、落下によりけがや事故の原因となります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具を使用し、プロジェクターの天吊り固定部すべてに確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- プロジェクターのケースや金具固定部に、接着剤・油・潤滑剤・洗剤・溶剤・薬品などを付着させないでください。プロジェクターのケースが劣化、破損し、金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たるような場所(調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器のそばなど)にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置の場合にプロジェクターが落下するおそれがあります。

ケース劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境の事例

- 油煙が多い場所(例:工場、調理場所、ご家庭のキッチン等)
- 溶剤、薬品が揮発している空間(例:工場、実験室等)
- 油、洗剤、薬品等が付着する場所(例:工場、調理場所、ご家庭のキッチン等)
- アロマオイルを頻繁に焚く場所(例:リラクゼーションルーム等)
- イベント演出等のスモーク(油成分以外も含む)や泡が多い場所(例:イベント演出装置周辺等)
- 塩害が発生する場所や、温泉から出る硫黄ガスなどの、腐食性ガスが発生する所には設置しないでください。腐食による落下の原因になることがあります。また、本機の故障の原因になることがあります。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーや ベルトなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原 因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィル ターにホコリが詰まって、故障や火災につながることがあります。

注意

- 以下の状態で投写しないでください。故障や事故の原因となります。
 - 立てて投写しない
 - 上または下に向けて投写しない
 - 左右に傾けて投写しない
- エアフィルターは約3か月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除 を行ってください。 ● p.62

■ テーブルなどに置いて投写する

リビングテーブルや低めの棚などに設置して、映像を投写します。



| 天吊りして投写する

オプションの天吊り金具で天吊り設置して、映像を投写します。



● 天吊りして投写する場合は、「設置モード」を「フロント・天吊り」または「リア・天吊り」に 設定します。 ● 「拡張設定」-「設置モード」 p.49 , M

投写距離とレンズシフトの最大値

本機をスクリーンから離すほど、投写映像は大きくなります。 次の表を参考にして、映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は目安です。 レンズシフトによる調整の最大値は次の表のとおりです。

- ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投 写距離を長くしてください。



- A : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
- B : レンズの中心から投写画面下端までの高さ
- C : レンズの中心

単位:cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離(A)		レンズシフトの最大値(B)	
		最短 (Wide)	最長 (Tele)	最上	最下
60型	133 x 75	176	286	-4	+7
80型	177 x 100	235	382	-5	+10
100型	221 x 125	295	478	-6	+12
120型	266 x 149	354	575	-7	+15
150型	332 x 187	443	719	-9	+19
200型	443 x 249	591	959	-12	+25
250型	553 x 311	740	1200	-16	+31
300型	664 x 374	888	1441	-19	+37

設置例(16:9 スクリーンサイズ/100型の場合)

横から見た図



上から見た図



■ 機器と接続しよう

注意

-WWW

- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと、機器の破損や故障の原因になります。

ビデオ機器の接続

DVD/ブルーレイディスクプレイヤーやビデオなどの映像を投写するには、HDMIケーブル(市販品)で接続します。

Service Audio Out HDMI	

- 接続機器の音声は、お手持ちのAVアンプなどに接続してもお楽しみいただけます。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、HDMIケーブル(市販品)で接続します。

Service	Audio Out HDMI	

iPad/iPhoneの接続

iPad/iPhoneで動画を投写するときは、市販のHDMI変換アダプター等を使用して有線で接続して ください。

外部機器の接続

Bluetooth[®]機器の接続

Bluetooth対応のオーディオ機器を接続して、メディアストリーミング端末やビデオ機器の音声を 出力できます。



本機の電源を入れ直したときは、最後に接続した機器に自動的に接続します。 接続機器を切り替えるときは、手順5から行います。

Bluetoothの仕様

バージョン	Bluetooth Ver 3.0
出力	Class 2
通信可能距離	約10m
対応プロファイル	A2DP
コンテンツ保護	SCMS-T方式
使用周波数	2.4GHz 帯(2.402GHz - 2.480GHz)
対応コーデック	SBC、Qualcomm [®] aptX [™] audio



- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火 災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

• 著作権保護(SCMS-T)に対応しているBluetooth機器を接続してください。

- 」・機器の規格や種類によっては接続できないことがあります。
 - 通信可能距離内で接続しているときでも、電波状況によっては接続が切れることがあります。
 - Bluetoothの通信方式は無線LAN(IEEE802.11b/g)や電子レンジと同一周波数帯 (2.4GHz)を使用しています。そのため、同時に使用すると電波干渉が発生し、映像や音声 が途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、Bluetooth機器をこ れらの機器の近くで使用しないでください。
 - 複数のBluetooth機器を同時に接続することはできません。
 - Bluetoothオーディオ機器で再生される音声には遅延が生じることがあります。

外部スピーカーの接続

外部スピーカーから音声を出力するには、市販のオーディオケーブルで、外部スピーカーと本機の Audio Out端子を接続します。

Service Audio Out HDMI	
------------------------	--

- 外部スピーカーから音声を出力するときは、[音声出力機器]を[プロジェクター]に設定します。● [設定] [HDMIリンク] [音声出力機器] p.46
 「音声出力機器] が「AV(アンプ)」に認定されていてた。アンプが接続されていたければ、音声
 - [音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されていても、アンプが接続されていなければ、音声 は外部スピーカーから出力されます。

🖸 リモコンを準備しよう

リモコンに電池をセットする

注意

- ・電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。
 ・単4形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。
- 電池カバーを外します。 電池カバーを取り付けます。 3 1 電池カバーのツメを押さえながら、上へ カチッと音がするまでカバーを押し込み 持ち上げます。 ます。 リモコンの反応が遅くなったり、 新しい電池と交換します。 2 操作できなくなったときは電池の (+)(-)の向きを確認して入れてくだ 寿命が考えられます。新しい電池 さい。 2本(単4形マンガンまたはアル カリ乾電池)と交換してくださ い。 Android TVを本機のリモコンで操 4 作するときは、ペアリング(接続設 定)が必要です。 画面の指示に従っ てリモコンのホームボタンと 【Enter】 ボタンを同時に約3秒間長 押ししてペアリングを行ってくださ い。 • プロジェクターの [HDMIリン ク] が [オフ] になっている場 合は、[オン] に設定してくだ さい。 🖝 p.42 ペアリング中は、リモコンのイ ンジケーターが点滅します。

リモコンの操作範囲



⊇ 映像を投写しよう

電源を入れる





目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン

入力検出ボタンを押して、目的の入力端子を選 択します。 操作パネル

【Home】ボタンを押して、Android TVの映像 に切り替えます。

【HDMI】ボタンを押して、HDMI端子からの映 像に切り替えます。



Home Home HDMI

電源を切る



○ 投写映像を調整しよう



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。

ピントを調整する (フォーカス調整)

フォーカススライダーまたはフォーカスリングを使ってピントを調整します。





投写のサイズを調整する (ズーム調整)

ズームスライダーまたはズームリングを使って投写映像の大きさを調整します。





映像の高さを調整する

フットレバーを押してフロントフットを伸ばします。最大11°まで傾けて、映像の高さを調整できます。

WWW



傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置して ください。

本機の傾きを調整する

机上設置時に投写映像が水平方向に傾いている(左右で高さが違う)ときは、リアフットで本機が水 平になるように調整します。



映像の位置を調整する(レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。 本機のレンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整してください。
 レンズシフトで投写位置を調整するときは、スクリーンと本機が平行になるように設置することをお勧めします。

台形ゆがみを補正する

台形にゆがんだ投写映像を補正するには、次の方法があります。

自動で補正する	自動タテ補正	タテ方向の台形のゆがみを自動的に補正します。
手動で補正する	スライド式ヨコ補正	ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダーで補正し ます。
	タテヨコ補正	タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。
	Quick Corner	投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

- ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、
 投写距離を長くしてください。
 - ・映像品質を落とさないためには、スクリーンと本機が平行になるように設置してください。スクリーンと本機を平行に設置できないときは、タテヨコ補正を使用して映像の形状を補正してください。
 - ゆがみを補正するときは、レンズシフトダイヤルを回して、レンズの位置を上端にしてください。レンズの位置が正しくないと投写画面がゆがむ場合があります。

自動で補正する(自動タテ補正)

本機を設置したときにプロジェクターが傾きを感知すると、投写映像のタテ方向のゆがみを自動的に補正します。プロジェクターが傾きを感知してから約2秒間静止すると、調整用の画面が表示され、投写映像が補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は以下のとおりです。

• 投写角度が上下約30°以下である。

۲.

• [設置モード] が [フロント] に設定されている。 [拡張設定] - [設置モード] p.49

自動タテ補正を機能させたくないときは、〔自動タテ補正〕を〔オフ〕に設定してください。

 ● [設定] - [台形補正] - [タテヨコ] - [自動タテ補正] p.46

🔲 手動で補正する(スライド式ヨコ補正)

ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、ヨコ方向のゆがみを補正します。



- [台形補正] が [Quick Corner] に設定されているとスライド式ヨコ補正が機能しません。[タ テヨコ] に設定してください。● [設定] - [台形補正] p.46
 - 正しく補正できる範囲は、補正角度で左右約30°以下です。

| 手動で補正する(タテヨコ補正)

操作パネルの上下/左右ボタンでタテヨコ方向のゆがみを補正します。

上下ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。 ゲージが表示された状態で、上下ボタンを押すと縦方向に、左右ボタンを押すと横方向に補正します。

上下のどちらかが広いとき



- ・ 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約30°以下です。
 - タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で左右ボタンを押すと、音量調整の機能として動作します。
 - タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 [設定] [台形補正] [タテヨ コ] - [タテ補正] / [ヨコ補正] p.46

手動で補正する (Quick Corner)

Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。





□タテヨコ

Quick Corner 🥑

T	ア遅切	両丙 +	ぶまニ	th	=7	+
エワ	ノ 医扒	凹ഥ/_	アエメノハ	C1U	5	10



音量を調節する

リモコンまたは本体操作パネルの音量ボタンで音量を調節できます。



- - AVアンプの音量を調整するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク]を [オン]、[音声出力機器]を[AVアンプ]に設定します。 ● [設定] - [HDMIリン ク] p.46
 - Android TV用リモコンを使ってAndroid TVの音量を最小に調整してある場合は、プロジェ クターリモコンでは音量を上げることができません。Android TV用リモコンで音量を上げて から調整してください。

<u> 注</u>意

初めから音量を上げすぎないでください。 突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電 源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

リモコンのA/Vミュートボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびに、映像と音声が遮 断/解除されます。





• 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいます。A/Vミュートボタンで映像を消したときの場面から投写を再開することはできません。

AVアンプからの音声を操作するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク]
 を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。 ● [設定] - [HDMIリン
 ク] p.46

2

WW

🖸 画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ (カラーモード)

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

| 【Menu】ボタンを押して、[画質] - [カラーモード] の順でメニューを表示します。





上下ボタンを押してモードを選択し、【Enter】ボタンを押して決定します。



モード名	使い方
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ブライトシネマ	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
ナチュラル	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。

画面をフルやズームに切り替える(アスペクト)

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写映像の [アスペクト] を切り替えます。 投写している映像の種類により選択できる設定が異なります。

著作権法上で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利
 目的で公衆に視聴させた場合は、著作者の権利を侵害するおそれがあります。



2 上下ボタンでアスペクトモードを選 択し、【Enter】ボタンを押して決定 します。



E

- [オート] は入力信号によっては選択できない場合があります。

通常は [オート] に設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で 表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル			
フル			
ズーム			

シャープネスの調整

画像を強調します。



映像の解像感を調整する(イメージ強調)

イメージ強調機能を使って映像の解像感を調整します。

調整できる内容は次のとおりです。

イメージ強調プリセット	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[ディテー ル強調]の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
ノイズリダクション※	映像のざらつきを抑えます。

E Star



オートアイリス (自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある映像が 楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、[標準]、[高速]から選択します。



映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。


色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。



RGBを調整する (オフセット・ゲイン)

R(赤)G(緑)B(青)の各色について、暗い部分(オフセット)と明るい部分(ゲイン)の明度 を調整します。

【Menu】ボタンを押して、「画 2 上下ボタンで項目を選択し、左右ボ 質]- 「ホワイトバランス]- 「カス タンで調整します。 タム]の順でメニューを表示しま +側(右側)にすると明るく、-側(左 側)にすると暗くなります。 す。 [カスタム] リモコン 操作パネル 50 🕥 Home Menu (Z Esc 50 Ō 50 [ტ (Enter) (=)50 Õ 50 🖪 (4)) オフセット 明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方にな りますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。

0 000

明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明る ゲイン い部分の濃淡が表現されます。

色相・彩度・明度の調整

R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、 明度を調整します。

色相	映像全体の色味を、青系~緑系~赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。



, WWW

ガンマの調整

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。 設定方法は次の2つの方法があります。

- 補正値を選んで調整する
- ガンマ調整グラフで調整する

補正値を選んで調整する



- ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。
- [ダークガンマリフト]を選択すると、暗い部分の階調を調整し、視認性を上げることができます。
 - 調整結果を初期値に戻すときは〔初期化〕を選択します。

ガンマ調整グラフで調整する

グラフ上の階調ポイントを選択して、調整します。





左右ボタンで調整したい階調をグラ フから選択します。



映像の暗い部分を調整するにはグラフの 左側を選択します。映像の明るい部分を 調整するにはグラフの右側を選択します。 3 上下ボタンで明るさを調整し、
 【Enter】ボタンを押して決定します。



階調ポイントを上に調整すると明るくなり、下に調整すると暗くなります。



登録したメモリーを呼び出したり、削除や名称変更ができます。



	ボタンを押すと、表示中の映像の設定値が選択したメモリーの設定 値に変更されます。
[メモリー削除]	登録したメモリーを削除します。メモリー名を選択し、【Enter】ボ タンを押すとメッセージが表示されます。[はい]を選択し、 【Enter】ボタンを押すと選択したメモリーが削除されます。
[メモリー名称変更]	メモリー名を変更します。変更するメモリー名を選択し、【Enter】 ボタンを押します。ソフトキーボードでメモリー名を入力します。
	入力が終了したらFinishにカーソルを合わせて、【Enter】ボタンを 押します。

W

◯ HDMIリンクで操作しよう

HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの 音量調整など連携動作がひとつのリモコンで操作できます。

-] AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
 - HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは2台までです。

HDMIリンク設定

[HDMIリンク] を [オン] にすると次の操作ができま す。 ☞ [設定] - [HDMIリンク] - [HDMIリン ク] p.46

- 入力切替連動 接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力 ソースがHDMIに切り替わります。
- 接続機器操作
 本機のリモコンで、接続機器の再生/停止/早送り/巻
 き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止/
 音量調整/音声ミュートなどの操作ができます。



また、[HDMIリンク] 画面で次の機能を選択できます。

機能	説明
音声出力機器	音声出力先を設定します。
	[プロジェクター]:本機の内蔵スピーカーまたはAudio Out端子に接続した外 部スピーカーから音声を出力する場合に選択します。
	[AVアンプ]:HDMI CEC規格に対応したAVアンプから音声を出力する場合に 選択します。
電源オン連動	[電源オン連動]を設定すると、次のように操作が連動します。
	 本機の電源を入れると、接続機器の電源が入ります。 接続機器で電源を入れたりコンテンツを再生したりすると、本機の電源が入ります。

機能	説明
電源オフ連動	[電源オフ連動] を [オン] にすると、本機の電源オフに連動して、接続機器の 電源が切れます。
	 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効です。 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。

HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書を ご覧ください。

接続する

W

HDMIリンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせてHDMI リンクで操作できる機器も切り替わります。

接続機器一覧を表示する前に、[HDMIリンク] が [オン] になっていることを確認してください。 ● [設定] - [HDMIリンク] - [HDMIリンク] p.46



ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
 HDMLCEC規格に対応していても動作しない接続機器や

J● HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続 機器の取扱説明書などをご確認ください。



環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。



環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの[画質]と[映像]の項目は調整できません。また、[画質]、[映像]、[情報]は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

■ 画質メニュー

機能		メニュー	-/設定値		説明	
カラーモード	ダイナミック、ブライトシネマ、ナチュラ ル、シネマ			投写する環境や映像に合わせて、色調 整を選択します。 ← p.33		
明るさ				映像が暗く感じるときに調整します。		
コントラスト				映像の明暗の差を調整します。コント ラストを上げるとメリハリのある映像 になります。		
色の濃さ					映像の色の濃さを調整します。	
色合い					映像の色合いを調整します。	
シャープネス					映像のシャープ感を調整します。	
ホワイトバラ ンス	色温度		●温度			映像全体の色合いを調整します。高い 値にすると青みがかった映像になり、 低い値にすると赤みを帯びた映像にな ります。
	カスタム				R/G/Bごとにオフセットとゲインを調 整します。	
イメージ強調	イメージ強調プリセ ット		オフ、プリセット1~ プリセット5		[ノイズリダクション]、[MPEGノイズ リダクション]、[ディテール強調]の 設定値としてあらかじめ用意された設 定を選択します。	
	ノイズリタ	ブ クション			映像のざらつきを調整します。	
	MPEGノ- ション	イズリダク			MPEG形式の映像のざらつきを抑えま す。	
	ディテール	ノ強調	強度、範囲		映像の質感や素材感を際立たせます。	
アドバンスト	ガンマ		2、1、0、 ダークガン ト、カスタ 化	-1、-2、 /マリフ /ム [※] 、初期	ガンマ調整をします。数値を選択する 方法と、カスタムで調整する方法があ ります。	
	RGBCMY	R/G/B/C/ M/Y	色相、彩 度、明度		R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明 度を調整します。 ● p.37	
明るさ切替	高、低			ランプの明るさを2段階で切り替えま す。 投写映像が明るすぎるときは[低]に 設定します。[低]で使用すると投写中 の消費電力、ファン回転音が減少しま す。		
オートアイリ ス	オフ、標準、高速			映像の明暗変化に対する光量調整の追 従性を設定します。		

機能	メニュー/設定値	説明
初期化	はい、いいえ	現在のカラーモードで設定した [画質] の調整値を初期値に戻します。

※入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

■ 映像メニュー

機能	×=	-/設定値	説明
アスペクト※1	オート ^{※2} 、ノーマ	ル、フル、ズーム	アスペクトモードを選択します。 🖝 p.33
オーバースキ ャン ^{※1}	オート、オフ、4%、8%		出画率(投写する映像の範囲)を変更できま す。
			 [オフ]、[4%]、[8%]:映像の範囲を設定します。[オフ]はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 [オート]:入力信号によって自動的に[オフ]または[8%]に設定されます。
アドバンスト	ビデオレンジ*1	オート、リミテッ ド(16-235)、フ ル(0-255)	[オート] に設定すると、DVD入力信号のビ デオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや 白とびが生じるときは、DVD/ブルーレイデ ィスクプレイヤーのビデオレベルの設定に合 わせて本機のビデオレベルを設定します。プ レイヤー側の設定では、Normal(リミテッ ド)、Expand(フル)となっていることがあ ります。
	EDID	標準、21:9	EDIDを切り替えることができます。 EDIDを切り替えた後は、本機を再起動して ください。
初期化	はい、いいえ		[映像] のうち、[アスペクト] 以外のすべて の調整値を初期値に戻します。

※1入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※2入力ソースや信号の種類によっては選択できないことがあります。

設定メニュー

機能	メニュ-	-/設定値		説明
台形補正	タテヨコ	タテ補	-60~60	台形ゆがみを補正します。 🖝 p.29
		止		• タテヨコ:縦方向、横方向のゆがみを補正
		ヨコ補 エ	-60~60	します。 ● p.29
		LE		• Quick Corner: 投写画面のコーナーの形
		自動タテ補 正	オン、 オフ	状を個別に補正します。 🖝 p.30
		スライド式 ヨコ補正	オン、 オフ	
	Quick Corner	-		

機能	×=	-/設定値	説明
サウンド	音量	0~20	本機の内蔵スピーカーの音量を調整します。 本機に接続しているBluetoothオーディオ機 器の音量も調整できます。内蔵スピーカーと Bluetoothオーディオ機器の音量は、それぞ れ調整する必要があります。
	サウンドモード	スタンダード、ボ ーカル、ミュージ	再生するコンテンツの内容に適したサウンド モードを選択します。
		ック、ムーヒー	Bluetoothオーディオ機器で音声を出力して いるときは選択できません。
HDMIリンク	接続機器一覧	-	HDMI入力端子に接続している機器の一覧を 表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ	HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、 AVアンプ	音声出力先を設定します。 🖝 p.42
	電源オン連動	オフ、双方向、接 続機器→PJ、PJ →接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 • 接続機器での操作に連動して本機の電源を 入れるときは、[双方向] または [接続機 器→PJ] を選択します。 • 本機の電源オンに連動して接続機器の電源 を入れるときは、[双方向] または [PJ→ 接続機器] を選択します。
	電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源 を切るかどうかを設定します。
Bluetooth	Bluetooth機器検 索	-	接続可能なBluetooth機器を検索して一覧を 表示します。
	Bluetoothオーデ ィオ	オン、オフ	Bluetoothオーディオ機器からの音声出力の 有効/無効を切り替えます。 以下の場合は設定できません。 • [HDMIリンク] メニューの [音声出力機
	接続機器	-	器」が [AVアンプ] に設定されているとき 接続中のBluetoothオーディオ機器の情報を 表示します。

機能	メニュー	-/設定値	説明
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操 作パネルのスタンバイボタンでの電源オンを ロックします。ロック時は、スタンバイボタ ンを約3秒間押し続けると電源が入ります。 スタンバイボタンでの電源オフやリモコンで の操作は通常どおり行えます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクール ダウンが終了した後に、設定が有効になりま す。 [ダイレクトパワーオン]を[オン]に設定 しているときは、[チャイルドロック]を[オ ン] に設定している場合も、本機に電源コー ドを接続するだけで投写が開始されますの で、注意してください。
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロ ック、オフ	[全ロック]:操作パネルのすべてのボタン操作が無効になります。 [操作ロック]:操作パネルのスタンバイボタン以外のボタン操作が無効になります。 ロック中にボタン操作を行うと画面上に が表示されます。解除するには、本体操作パネルの【Enter】ボタンを約7秒以上押しま
			す。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの 表示終了後に、設定が有効になります。
メモリー	メモリー呼出	Memory 1 ~ Memory 1 O	メモリー登録した設定値を呼び出して映像を 調整します。
	メモリー登録	Memory 1 ~ Memory 1 O	[画質] で設定した設定値をメモリーとして 登録します。
	メモリー削除	Memory 1 ~ Memory 1 O	登録したメモリーを削除します。
	メモリー名称変更	Memory1~ Memory10、デ フォルト、DVD、 VCR、SDTV、 HDTV、 Cinema、 Sports、Music、 Anime、Game、 カスタム	メモリーの登録名を変更します。
初期化	はい、いいえ		[設定] のうち、[音声出力機器]、[電源オン 連動]、[電源オフ連動]、[メモリー] 以外の すべての調整値を初期値に戻します。

拡張設定メニュー

機能	×	ニュー/設定値	説明
表示設定	メッセージ 表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする(オン)/しない (オフ)を設定します。
			 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面 の状態を選択します。
	スタートア ップスクリ ーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン(投写開始時に投 写される映像)を表示する(オン)/しない (オフ)を設定します。設定を変更した場合 は、電源を切ってクールダウンが終了した後 に、設定が有効になります。
	型番表示モ ード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
設置モード	フロント、フ リア・天吊り	ロント・天吊り、リア、	設置状況に応じた投写方法を選択します。
動作設定	ダイレクト パワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン 操作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時 などに、電源コードが接続されていると、投 写が開始されますので注意してください。
	スリープモ ード	オン、オフ	ー定時間映像信号の入力がないときに、自動 的に電源をオフにして、スタンバイ状態にな ります。スタンバイ状態になっているとき は、リモコンまたは操作パネルのスタンバイ ボタンを押すと投写を再開します。
	スリープモ ード時間	1~30分	[スリープモード] で電源が自動的に切れる までの時間を設定します。
	イルミネー ション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネ ルのインジケーターの点灯が気になるとき は、本設定を [オフ] にします。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		[拡張設定] のうち、[設置モード]、[高地モ ード]、[言語] 以外のすべての調整値を初期 値に戻します。

情報メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。
	入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
	入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
	入力解像度	入力解像度を表示します。
	走查方式	走査方式を表示します。
	リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。
	同期情報	映像信号の情報を表示します。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	色深度	色深度と色差フォーマットを表示します。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。

初期化メニュー

機能	説明
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を0 Hに戻します。ランプ交換をしたときに行って ください。
メモリー初期化	[メモリー]のすべての項目を初期設定に戻します。
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [メモリー]、[ランプ点灯時間]、[言語] メニューの調整値は初期値に戻 りません。

■ 故障かなと思ったら

インジケーターの見方

本機の状態は、操作パネルのステータスインジケーター、スタンバイインジケーター、ランプインジケーター、温度インジケーターの点灯や点滅で確認できます。



次の表でインジケーターの状態と対処方法を確認してください。

|異常/警告時のインジケーターの状態

◎□◎: 点滅 □: 点灯 目: 状態維持 □: 消灯

インジケーター	状態	対処方法
Status © 目 し (青) - 次- (オレンジ)	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換し てください。
Status © 目 () (青) - 〇 - 〇 - 〇 - 〇 (オレンジ)	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写 を自動的に停止します。 • 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm 以上あけてください。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をし てください。 ● p.62 • 吸気口付近がふさがれていないか、また、吸気口付近 の温度が高すぎないか確認してください。 ● p.72

インジケーター	状態	対処方法
Status (青) (青) -次-	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソン の各修理センターに修理を依頼してください。
(オレンジ)		
Status 💿 💽 🕛	ファン 英常 センサー異常	
(青)		
-¤-		
(オレンジ)		
Status 💿 🕒	オートアイリス異常	
(青) ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
Status C	電源系異常(バラス ト)	
(青)		
-Ă-		
(オレンジ)		
Status 💿 🕒	ランプ異常 ランプ点灯失敗	ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。 • 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認
(青) - 八- (オレンジ)	ランプカバー開放状 態	します。 ● p.65 ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本 機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときやランプが割れ ているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お 買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに 修理を依頼してください。 ● 『お問い合わせ先』 • ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してくだ さい。

インジケーター	状態	対処方法
Status (高) (青) -次- (オレンジ)	内部高温異常 (オーバーヒート)	 内部が高温になっています。 ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5 分間そのままの状態で待ちます。ファンが停止した ら、電源コードを抜きます。 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm 以上あけてください。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をし てください。 ● p.62 吸気口付近がふさがれていないか、また、吸気口付近 の温度が高すぎないか確認してください。 ● p.72 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をや め、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売 店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼して ください。 ● 『お問い合わせ先』 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モー ド]を[オン]にしてください。 ● [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.49

正常動作時のインジケーターの状態

◎□◎: 点滅 □: 点灯 □: 消灯

インジケーター	状態	対処方法
Status 🗔 🔿 🕑	スタンバイ状態	リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押す と、しばらくして投写を開始します。
(青)		
Status 💿 🕑	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
(青)	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。クー ルダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万 ー、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ラン プが十分に冷えてから(約10分必要)、再び電源コード を接続し、リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタ ンを押してください。
Status 🗔 🕒 🕓	投写中	通常動作中です。
(青)		

 ・ 正常動作時は温度インジケーターとランプインジケーターは消灯しています。
 ・ [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケーターがすべて消灯し ています。 [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.49

インジケーターを確認してもわからないとき

現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

現象 ペ		
映像に関するトラブル	映像が表示されない	p.55
	投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど…	
	動画が表示されない	p.55
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.55
	「 映像信号が入力されていません。」 と表示される	p.56
	投写映像が台形にゆがむ	p.56
	ぼやける、ピントが合わない	p.56
	ノイズが入る・乱れる	p.56
	切れる (大きい)、小さい、映像の一部分しか投写されないなど…	p.57
	色合いが違う	p.57
	赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がく すむなど… *	
	暗い	p.57
	自動的に投写が消える	p.58
音に関するトラブル	音が出ない、小さい	p.58
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.58
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.59
操作パネルのトラブル	本体パネルで操作できない	p.59
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.60
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.60
Bluetooth機器のトラブ	Bluetooth機器を接続できない	p.60
ル	Bluetooth機器の音声や接続が途切れる	p.61
メディアストリーミング 端末のトラブル	メディアストリーミング端末の映像が視聴できない	p.61

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか?	リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押します。
電源コードを接続していますか?	電源コードを接続してください。
インジケーターがすべて消灯していません か?	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、スタンバイボタンを押して電気が供給されている か確認します。
映像信号は入力されていますか?	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境 設定メニューの [メッセージ表示]を [オン] に設定する と映像信号に関するメッセージが表示されます。 ● [拡 張設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.49
AVアンプの電源が切れていませんか?	AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認 してください。
機器から映像信号が送られていますか?	接続している機器から映像信号が送られていることを確認 してください。
環境設定メニューの設定が間違っていませ んか?	全初期化してみてください。 〔初期化〕 - 〔全初期 化〕 p.50
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電 源が入っている状態で行いましたか?	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像 信号を外部に切り替えるFn(ファンクション)キーが使え ないことがあります。接続しているコンピューターと本機 の電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モ ニター両方同時に出力されるように設定さ れていませんか?	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに 同時表示させると動画が表示されないことがあります。 映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参
	照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモー	環境設定メニューの [入力解像度] で入力中の映像信号を 確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。
ドですか?	 ☞ [情報] - [プロジェクター情報] p.50 ☞ 「対応解像度一覧 p.70

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認しま す。 ☞ p.20
接続した映像入力端子を正しく選択してい ますか?	リモコンの入力検出ボタンまたは操作パネルの【Home】/ 【HDMI】ボタンで映像を切り替えます。 🖝 p.26
接続している機器の電源は入っています か?	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されてい ますか?	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外(外部)に も出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力 すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参 照してください。
	本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、 コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファン クション)キーが使えないことがあります。本機およびコ ンピューターの電源を入れ直してください。

投写映像が台形にゆがむ

確認	対処法
台形ゆがみは補正範囲内で調整しています か?	補正可能範囲よりも外の位置から投写を行うと、台形ゆが みを十分に補正できない場合があります。できるだけスク リーンの正面に水平・平行に設置して、レンズシフトを使 って投写位置を調整してください。 ☞ p.15

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカスを調整しましたか?	フォーカス調整を行います。 🖝 p.27
レンズカバーが閉まっていませんか?	レンズカバーを開けます。
投写距離は最適ですか?	投写距離の推奨範囲を確認してください。 🖝 p.18
レンズが結露していませんか?	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房 したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけるこ とがあります。 ご使用になる1時間くらい前に使用する部 屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本 機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してく ださい。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認しま す。 ● p.20
ケーブルを延長していませんか?	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。
解像度の選択は正しいですか?	☞ p.70

映像の一部が切れる(大きい)、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか?	環境設定メニューの [アスペクト] で、入力信号に合った アスペクトモードを選択してください。 ☞ [映像] - [ア スペクト] p.46
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか?	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☞ p.70

色合いが違う

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認しま す。 ☞ p.20
コントラストは正しく調整されています か?	環境設定メニューの [コントラスト]を調整してください。 ☞ [画質] - [コントラスト] p.45
適切に色の調整がされていますか?	環境設定メニューの [アドバンスト]を調整してください。 ☞ [画質] - [アドバンスト] p.45
(ビデオ機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていま すか?	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してく ださい。 ☞ [画質] - [色の濃さ] / [色合い] p.45

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されています	環境設定メニューの [明るさ] を設定してください。
か?	☞ [画質] - [明るさ] p.45
コントラストは正しく調整されています	環境設定メニューの [コントラスト]を調整してください。
か?	☞ 【画質】- [コントラスト】 p.45
ランプの交換時期ではありませんか?	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ● p.65

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード] が有効になっていませ んか?	ー定時間映像信号の入力がないときに、ランプが自動的に 消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンまたは操作 パネルのスタンバイボタンを押すと電源が入ります。[スリ ープモード]を無効にするときは、設定を[オフ]にしま す。 🖝 [拡張設定] - [動作設定] - [スリープモー ド] p.49

■ 音に関するトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されてい ますか?	Audio Out端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか?	聞こえる音量に調整してください。 ☞ p.32
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」 となっていますか?	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか?	HDMIケーブルで接続していて音声が出ないときは、接続 先の機器の設定をPCM出力にしてください。
[音声出力機器] の設定は正しいですか?	環境設定メニューで [音声出力機器] の設定が正しいこと を確認してください。 ☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音 声出力機器] p.46
[Bluetoothオーディオ]の設定は正しい ですか?	Bluetoothオーディオ機器を接続しているときは、次のよ うに設定してください。
	 本体スピーカーまたはAVアンプから音声を出力するとき は、[Bluetoothオーディオ]を[オフ]に設定してくだ さい。 Bluetoothオーディオ機器から音声を出力するときは、 [Bluetoothオーディオ]を[オン]に設定してください。
	● [設定] - [Bluetooth] - [Bluetoothオーディオ] p.46

■ 投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか?	リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押します。
[チャイルドロック] を [オン] に設定し ていませんか?	環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設 定している場合は、操作パネルのスタンバイボタンを約3秒 間押し続けるか、リモコンで操作します。 ● [設定] - [ロ ック設定] - [チャイルドロック] p.46

確認	対処法
電源コードを触ると、インジケーターが点 いたり消えたりしませんか?	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。 それでも直らないときは、 ご使用をやめ、電源コードを抜 き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメ ーションセンターにご相談ください。
ランプカバーやランプは正しく装着されて いますか?	本機は、ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。装着の状態を確認してください。 ・

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモ コン受光部に向けて操作していますか?	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作 可能範囲を確認してください。 🖝 p.24
プロジェクターから離れすぎていません か?	操作可能範囲を確認してください。 🖝 p.24
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い 光が当たっていませんか?	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置し てください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを 間違えてセットしていませんか?	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 🖝 p.23
メディアストリーミング端末とペアリング できていますか?	 ペアリング画面が表示されているときは、リモコンの 【Enter】ボタンとホームボタンを同時に約3秒間長押し して、ペアリングを実行してください。● p.23 ペアリング画面が表示されていないときは、プロジェク ターとメディアストリーミング端末が起動していること を確認してから、リモコンの戻るボタンと右ボタンを約 7秒間長押ししてください。その後、ペアリング画面が表 示されたらペアリングを実行してください。● p.23
Android TV用リモコンを使って、操作し ていませんか?	Android TV用リモコンを使用していないことを確認します。プロジェクターリモコンを使用してください。

操作パネルのトラブル

本体パネルで操作できない

確認	対処法
[操作ボタンロック]を [全ロック] また は [操作ロック] に設定していませんか?	環境設定メニューの [操作ボタンロック] を [全ロック] に設定していると、操作パネルのすべてのボタン操作が、 [操作ロック] に設定していると、操作パネルのスタンバイ ボタン以外のボタン操作が無効になります。リモコンで操 作してください。 • [設定] - [ロック設定] - [操作ボタ ンロック] p.46

HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用して いますか?	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続し ていますか?	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、[接続機器一覧]で利用可能かどうか確認してください。 ● p.43
ケーブル類が正しく接続されていますか?	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続 されているか確認します。 ← p.42
接続しているアンプやDVDレコーダーな どの電源は入っていますか?	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか?	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できない ときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が 必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか?	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは2台ま でです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応してい ますか?	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

Bluetooth機器のトラブル

Bluetooth機器を接続できない

確認	対処法
機器検索を実行しましたか?	Bluetooth機器を初めて接続するときや、別のBluetooth 機器に切り替えるときには、[Bluetooth機器検索]を実行 してください。
著作権保護(SCMS-T)対応機器ですか?	著作権保護(SCMS-T)に対応していないBluetooth機器 は接続できません。
A2DPに準拠していますか?	A2DPに対応していないBluetooth機器は接続できません。

Bluetooth機器の音声や接続が途切れる

確認	対処法
プロジェクターとBluetooth機器の間に 障害物がありませんか?	プロジェクターとBluetooth機器の間に障害物がないかを 確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更し てください。
通信可能距離内で接続していますか?	プロジェクターとBluetooth機器の距離が10mを超える と、音声や接続が途切れることがあります。Bluetooth機 器をプロジェクターに近づけてください。
周囲に無線機器や電子レンジがありません か?	無線機器や電子レンジと同時に使用すると、電波干渉が発 生し、音声や接続が途切れることがあります。干渉の可能 性のある機器を遠ざけてください。

メディアストリーミング端末のトラブル

メディアストリーミング端末の映像が視聴できない

確認	対処法
インターネットに接続していますか?	オンラインコンテンツをご視聴いただくには、インターネットへの接続が必要です。Wi-Fiサービスを利用できる環境 か確認してください。
リモコンや操作パネルで画面が操作できま すか?	操作できない場合は、プロジェクターを再起動してください。

🖸 お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

\Lambda 警告

- 本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。
- エアダスターや殺虫剤などの可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。

本機内部ではランプが高温になっています。

エアダスターや殺虫剤、消臭剤などに含まれる可燃成分がプロジェクター内部に吸いこまれ、引火に よる火災ややけどの原因となります。プロジェクターの周囲で可燃性スプレーを使用した場合は、十 分に換気を行ってからプロジェクターをご利用ください。

エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因 となります。約3か月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境 でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むお それがあります。







必ずはじめに電源コードをコンセントから抜いてください。 本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものや台所用洗剤を使わないでください。外装ケースが 変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

』 レンズの掃除

必ずはじめに電源コードをコンセントから抜いてください。 レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

Service of the servic

- レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むお それがあります。

消耗品の交換時期

🔲 エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき 🖝 p.62

ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
 「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、 www.epson.jp をご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき(メッセージはランプ寿命の100時間前に到達した ときに表示され、30秒経過すると消えます)
 - 投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。初期の明るさや画質を維持するため、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はメニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。
 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、速やかに新しいランプと交換してください。
 - 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
 - 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト(通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。

消耗品の交換

エアフィルターの交換方法





🔲 ランプの交換方法

🕂 警告

ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使 用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り 外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、 目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



- 電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが 十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。
 純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響をおよぼす可能性があります。
 純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

リモコンまたは操作パネルのスタン バイボタンを押し電源を切り、電源 コードを抜きます。



⚠️ 警告

ランプの分解・改造は絶対しないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、 火災・感電・事故の原因となります。

<u> 注</u>意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀(Hg)が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

■ ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケーターでお知らせします。

1	電源を入れます。 【Menu】ボタンを押します。 リモコン 操作パネル レーレーレー 「」」 、 環境設定メニューが表示されます。	2 左右ボタンで [はい] を選択し、 [Enter] ボタンを押して実行します。 うンプ点灯時間が初期化されます。 [ランブ点灯時間初期化] 度行します。よるしいですか? はい ② いいえ
3	【初期化】- 「フンプ点灯時間初期化 化】を選択します。 初期化を確認する画面が表示されます。 画質 政度 城張設定 加期化	



注意

- プロジェクター使用時は、必ず本機に内蔵されているメディアストリーミング端末を接続してください。
- 本機に内蔵されているメディアストリーミング端末は本機専用です。接続する映像機器によっては 正しく動作しないことがあります。

本機に内蔵されているメディアストリーミング端末を修理に出された場合、初期化してお返しすることがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

🖸 オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2020年2月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具(ホワイト)	ELPMB23	本機を天井に取り付けるときに使います。
セーフティーワイヤーセット	ELPWR01	落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐ ときに使います。
パイプ450(450mmホワイト)	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使
パイプ700(700mmホワイト)	ELPFP14	います。

天吊り設置には特別な技術が必要となります。 お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP97	使用済みランプと交換します。 (ランプ1個)
エアフィルター	ELPAF55	使用済みのエアフィルターと交換します。(エア フィルター2枚入り)

🖸 対応解像度一覧

プロジェクターのパネル解像度より大きな解像度の信号を入力したときは、画質が劣化する場合が あります。

チェックマークが入っている信号に対応しています。

PC

信号フォー解像度		V Sync	Dotclk	K HDMI								
マット	マット (Dot)		(Hz)	(MHz)	RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
VGA60	640	480	60	25.175	1							
UWHD	2560	1080	60	198.000	1							

SD

信号フォー	- 解像度		V Sync	V Sync Dotclk	HDMI							
マット	(D	ot)	(Hz)	(MHz)	F	IGB			YC	CbCr		
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
SDTV (480i)	720	480	59.94	13.500	1	1	1	1	1	1		
SDTV (576i)	720	576	50	13.500	/	1	1	1	1	1		
SDTV (480p)	720	480	59.94	27.000	/	1	1	1	1	1		
SDTV (576p)	720	576	50	27.000	/	1	1	1	1	1		

HD

信号フォー	解	解像度		Dotclk	HDMI							
マット (Dot)		(Hz)	(MHz)	F	RGB YCbCr							
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
HDTV (720p)	1280	720	50	74.250	/	1	/	1	1	1		
HDTV (720p)	1280	720	59.94	74.176	/	1	/	1	1	1		

信号フォー	解	解像度 V Sync		V Sync Dotclk		HDMI								
マット	(Dot)		(Hz)	(MHz)	F	RGB			YC	CbCr				
							4	:4:4	4	:2:2	4	:2:0		
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12		
HDTV (720p)	1280	720	60	74.250	1	1	1	1	1	1				
HDTV (1080i)	1920	1080	50	74.250	/	1	/	1	1	1				
HDTV (1080i)	1920	1080	59.94	74.176	1	1	1	1	/	1				
HDTV (1080i)	1920	1080	60	74.250	1	1	1	1	/	/				
HDTV (1080p)	1920	1080	23.98	74.176	1	/	1	1	/	1				
HDTV (1080p)	1920	1080	24	74.250	1	/	/	1	/	1				
HDTV (1080p)	1920	1080	29.97	74.176	/	1	1	1	1	1				
HDTV (1080p)	1920	1080	30	74.250	/	/	/	1	/	1				
HDTV (1080p)	1920	1080	50	148.500	/	/	/	1	/	1				
HDTV (1080p)	1920	1080	59.94	148.352	1		1	/	/	/				
HDTV (1080p)	1920	1080	60	148.500	1	/	1		1	/				
🖸 仕様一覧

EH-TW5825

商品名		EH-TW5825			
外形寸法		30 (フ)9(幅) x フット含ます	107(高さ) x 308(奥行き) mm [»])	
パネルサイス	n •	0.0	61型ワイト	× · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
表示方式		ポ	リシリコン	TFTアクティブマトリクス	
画素数		横	1920 x 縦	1080 x 3	
フォーカス調	整	手	動		
ズーム調整		手	動(約1-1	.6)	
ランプ(光源	i)	Uŀ	HEランプ カ	E格200W	
ランプ寿命		画	質メニュー	の明るさ切替が高の場合:約4,500時間	
		画質メニューの明るさ切替が低の場合:約7,500時間			
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.2 - 1.4 A			
消費電力	100-120VI	定格消費電力:310W			
リア		待機時消費電力:0.3 W			
220-240 VI		定格消費電力:297 W			
	リア	待機時消費電力:0.3 W			
動作高度		標高0~3048 m			
動作温度範囲		+5~+35℃(結露しないこと)(標高0~2286 m)			
		+5~+30℃(結露しないこと)(標高2287~3048 m)			
保存温度範囲		-10~+60℃(結露しないこと)			
質量		約3.8 kg			
スピーカー		10 W x 1 (エンクロージャー付き)			
接続端子	HDMI入力端子		1系統	HDMI HDCP1.4対応、CEC信号対応、リニアPCM 対応、Deep Color	
	Audio Out端子		1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)	
	Service端子※		1系統	USBコネクター(Bタイプ)	

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度

10°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります



🖸 外形寸法図

単位:mm



- a レンズ中心
- b レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



🖸 安全規格対応シンボルマークについて

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
0	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
Ċ	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機 状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
\triangle	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意(高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であ ることを示す。
	IEC60417 No.6042 IS03864-B3.6	注意(感電危険) 感電(電撃)の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極 の接続を示す。
٩	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分の カバーまたは接続端子を示す。
(+	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
(+ -		
	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃(感電)保護用外部導体への接続端子また は保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース ⑦ の使用が明示的に要請されない場合の接地(アース)端 子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
\sim	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子である ことを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子である ことを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した 安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
\bigcirc	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能 性がある場合の禁止通告を示す。
∢-× -≩ 		プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
₽ ≣X		プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを 示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性があ る場合の禁止通告を示す。
Ü	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
<u>S</u>	IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければなら ないことを示す。
ME	IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
		プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	IS07010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないよう に注意することを示す。
\bowtie	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを 示す。

🖸 用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由 して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術 です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護さ れたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたとき は、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
НОМІтм	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネル オーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
	HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタ ル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用 されます。
	• 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、i はインターレース 走査)
	● 画面のアスペクトは16:9・トルヒーテジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ 放送のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのものを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのものを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横:縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面を ワイド画面といいます。
	SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4:3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの 表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。

🖸 一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの 点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または エプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更さ れたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など 機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステ ム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム 全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、 航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とさ れる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分 ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、 事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現 地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電 圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

Japan

本製品を正しく使用するために、はじめにマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に 保管してください。

付録

、警告

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、 心臓ペースメーカーを使用した人が近くにいないことを確認してください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が 近くにないことを確認してください。
- 無線通信機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電波 が機器に影響をおよぼしたり、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を継続して使用するときは、人体から20cm以上離れた場所でご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使 用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しな い無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマ チュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社インフォメーションセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせ下さい。



警告ラベルについて

▲ 警告
• 本機には警告ラベルが貼られています。
く ・ ・ RG2 <u> </u>
 投写中は、投写レンズから放射されるビームをのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)

廃棄について



本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」は セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

iPad、iPhone、Mac、OS X、iOSはApple Inc.の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコ ーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびト レードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetopia[®] is provided for your use by Stonestreet One, LLC[®] under a software license agreement. Stonestreet One, LLC[®] is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia[®] and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC[®] reserves all rights related to Bluetopia[®] not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC[®].

© 2000-2012 Stonestreet One, LLC[®] All Rights Reserved.

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。 NETFLIX

Google、Google Play、YouTubeおよびAndroid TVは、Google LLCの商標です。

Googleアシスタントは、国や言語により使用できない場合があります。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

© 2021 Seiko Epson Corporation





数字・アルファベット

A/Vミュート	32
Android TV用リモコン	13
Bluetooth	47
Bluetooth機器の接続	20
CEC規格	42
EDID	46
HDMI端子 10,	42
HDMIリンク 42,	47
iPad/iPhoneの接続	20
MPEGノイズリダクション	34
Quick Corner	30
RGBCMY	45
RGBの調整	36

ア

明るさ	45
明るさ切替 4	45
アスペクト 33, 4	46
アドバンスト 45,4	46
異常/警告インジケーター	51
イメージ強調 3	34
イメージ強調プリセット 45,3	34
イルミネーション	49
色合い	45
色深度	50
色の濃さ	45
インジケーター	51
エアフィルターの掃除 6	52
エアフィルター 62,6	64
エアフィルターカバー 62,6	35
エアフィルターの交換	64
エアフィルターの交換時期	64
映像の位置調整 2	28
映像メニュー	46
オートアイリス	45
オーバースキャン	46
オフセット	45
立旦 20 /	<u> </u>

カ

外形寸法	73
外部機器の接続	20
外部スピーカーの接続	22
拡張設定メニュー	49
画質	33
画質メニュー	45
型番表示モード	49
傾き調整	28
カラーモード 33,	45
環境設定メニュー	44
ガンマ	45

クールダウン	26
ゲイン	45
言語	49
交換時期	64
高地モード	49
コントラスト	45
コンピューターの接続	20

サ

彩度		37	45
		07,	
サフメニュー			44
布 相		27	15
	•••••	Ο7,	40
自動絞り			35
白動力二端正			$\overline{\mathbf{a}}$
日期アノ伸止			29
シャープネス		34	45
		Ο Ι,	
· 仁禄一覓			72
情報メーュ—			50
			00
消耗品の父換			64
消耗日のな物時期			61
/月和印0/又按时别	• • • • • • • • •	•••••	04
初期化	46.	48.	49
が世ンノーー	,	,	EO
初期16メニュー			50
ズーハ			33
\vec{J}			
スームスフィダー			B
ブーム調整			27
		~~~~~	
スームリンク		8,	27
フタートアップフクリーン			10
			40
- 人フイド式ヨコ補止			29
フリープモード			10
	• • • • • • • • •		43
接続			20
32年7 い			40
			49
設定メニュー			46
_			50
<b>操作パネル</b>		۶	2 9
	• • • • • • • • •	C	ט, כ מ
· 深作範囲			24
堤作ボタンロック			ΛQ
ホートハノノロソノ	• • • • • • • • •	•••••	40

## タ

対応解像度		70
台形補正		46
台形ゆがみ		29
ダイレクトパワーオン		49
高さ調整		27
タテヨコ補正 29,3	30,	46
チャイルドロック		48
ディテール強調	34,	45
電源 2	25,	26
点灯時間	50,	67
動作設定		49
投写サイズの調整		27
トップメニュー		44

## ナ

入力ソース	26
ノイズ	56
ノイズリダクション	45

# Л

バージョン	50
背景表示	49
ビデオ機器の接続	20
表示設定	49
ピント	56
ピント調整	27
フォーカススライダー	8
フォーカス調整	27
フォーカスリング	27
フル	33
プロジェクター情報	50
プロジェクターリモコン	12
ペアリング	23
ボリューム	32
ホワイトバランス	45
本体の掃除	63

## マ

ミュート	32
明度	45
メッセージ表示	49
メニュー	44
メモリー	48
メモリー機能	40
メモリー初期化	50
メモリー登録	40
メモリー呼出	40

## ヤ

## ラ

ランプカバー	. 8,	66
ランプカバー固定ネジ		66
ランプ点灯時間初期化	50,	67
ランプの交換		65
ランプの交換時期		64
リモコン	12,	23
レンズシフトダイヤル	. 8,	28
レンズの掃除		63
ロック設定		48